

事業報告令和4年度 教育事業 幼児キャンプ～森の中へGo!!～

令和4年9月23日（金）～24日（土）

【対象】年長児

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

豊かな自然の中での遊びを通して、幼児期に身につけたい多様な動きを獲得し、感性を高めるとともに基本的な生活習慣の基礎を育む機会とする。

2. 主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

3. 活動日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
9/23 (金)								受付	開会式	荷物移動	森の中へGo!! (運動プログラム)	荷物整理	つどいの 夕飯	入浴	絵本	就寝
9/24 (土)	起床	準備	朝の 朝食	荷物 清掃		野外炊飯 (おやき・豚汁)		閉会式	解散							

* 雨天のため、雨プログラムを実施

4. 参加者

年長児 13 人（男 6 名/女 7 名）

5. 参加者の声（聞き取りアンケート及び保護者アンケートより抜粋）

- ・ 1人でねることを頑張ることができた。
- ・ みんなで探検したことが楽しかった。
- ・ 体育館で遊んだのが楽しかった！お掃除が楽しくて、ほうきで掃くことを頑張った！絵本が大好きで、絵本も楽しかった！外でカッパを着て雨ポツポツ楽しかった！と楽しそうに、たくさん話してくれました。
- ・ プログラムについては、あいにくのお天気の中、それに合わせた自然とのふれあい方をご用意くださりありがとうございました。カッパを着る機会が普段から無く、直接雨の音を五感に感じること、雨宿りなど、きっと記憶に残る経験だったと思います。閉会式では親との再会に泣き、お世話になったボランティアの皆さんとお別れすることに泣き、感情がいっぱいあふれていて、良い時間が過ごせたと感じることができました。そして発表会では、どんな1日だったかをスライドショーで見せていただき大変感謝しています。
- ・ 一番に、「楽しかった！また行きたい！」と笑顔で話してくれました。職員の方々やボランティアスタッフの方々にまた会いたいと言っていました。典型的な次女末っ子体質な娘は、家ではちゃっかり甘えて世話をやくばかりですが、文句言わずに大きい荷物を一生懸命持っている姿やお友達の荷物を持ってあげたりする姿を見て、娘なりの頑張りが見られて嬉しかったです。
- ・ 本人がよく言っていたのが「キャンプが保育園だったらいいのに」です。それだけ楽しかったのだと思います。1～2週間経って自分から「お米研ぎたい」とか「洗濯機に洗剤入れるのやりたい」とか言うようになりました。閉校式の際におっしゃっていた通り、種を蒔いてくださったのだなと実感しています。

6. 活動の様子

森の中へ Go! (雨天プロ)
(写真でウォークラリー)



森の中へ Go! (雨天プロ)
(動物遊び)



絵本読み聞かせ



森の中へ Go! (雨天プロ)
(写真でウォークラリー)



森の中へ Go! (雨天プロ)
(あめの日ビンゴ)



野外炊飯 (おやきづくり)



森の中へ Go! (雨天プロ)
(動物遊び)



森の中へ Go! (雨天プロ)
(あめの日ビンゴ)



野外炊飯 (おやきづくり)



7. 成果と課題

(1)保護者アンケート結果 事後アンケート回収 11名 (回収率 85%)

幼児キャンプ全体を通して	満足 : 10名	90%
	やや満足 : 1名	10%
	やや不満 : 0名	0%
	やや不満 : 0名	0%

(2)成果と課題

- 雨天での実施となったため、雨の日の自然に親しめるプログラムを行った。雨の中外に出て、雨の音を聞いたり、水たまりの上でジャンプしたり、木の下で雨宿りしたりと、普段なかなか行わない体験ができた。1週間前から雨予報が出ており、事前に保護者へ雨具の用意を依頼できたため、参加者の準備も間に合っていて、安心して活動に取り組むことができた。
- 開会式・閉会式を保護者も参加して行った。保護者に向けて、体験することの良さを話したり、活動の様子をスライド投影して見せたりすることで、当施設の活動について伝える場を作ることができた。
- 就寝に関して、参加者数とボランティアの数を鑑みて宿泊棟を1棟とし、ボランティア全員で全参加者を対応できるようにしたが、夜泣きをした参加者の別室対応が難しくなったデメリットもあった。事前に就寝時の留意点・対応策を詳しく計画しておく必要があった。